

高松駅の歴史

明治30(1897)年
2月21日 **高松駅初代駅舎開業**
讃岐鉄道の駅として開業し、丸亀・高松間が開通しました。
当時の高松駅は現在の香川県立盲学校付近に位置していました。

明治37(1904)年
12月1日 山陽鉄道会社に移管しました。

明治39(1906)年
鉄道国有法により国有化されました。

明治43(1910)年
6月12日 **宇野・高松間航路開設**

7月1日 **高松駅二代目駅舎開業**
高松港近くへ移転しました。

明治44(1911)年
12月18日 **高松棧橋待合所開設**
高松駅隣に開設されました。

大正13(1924)年
8月10日 **高松駅・高松棧橋駅間開業**
高松駅構内扱いとして開業しました。

大正14(1925)年
8月1日 高德線高松・志度間が開業しました。

昭和34(1959)年
9月15日 **駅移転**
東方(海寄り)へ移転しました。
高松棧橋駅は廃止され、高松駅に統合されました。駅ビルとなった三代目駅舎の使用を開始しました。

昭和35(1960)年
3月10日 **高松駅三代目駅舎正式開業**
8月20日 旧高松駅周辺大火により、前年より使用されなくなり保存されていた二代目駅舎は焼失しました。

昭和62(1987)年
4月1日 **JR四国発足**
高松駅はJR四国の駅となりました。

昭和63(1988)年
4月10日 **瀬戸大橋開通**
瀬戸大橋線開通により、宇高連絡船が廃止されましたが、高速艇は存続しました。

平成3(1991)年
3月15日 この日を限り宇高航路高速艇が廃止されました。

平成9(1997)年
12月20日 **高松駅仮駅舎開業**

平成13(2001)年
5月13日 **高松駅四代目駅舎開業**
西へ300メートル移転し、四代目駅舎が開業しました。

平成20(2008)年
6月1日 高松駅に自動改札機を導入しました。

平成24(2012)年
3月17日 ICカード「ICOCA」のサービスを高松駅・坂出駅で開始しました。

3月29日 愛称名を「さぬき高松うどん駅」に決定しました。

平成25(2013)年
12月19日 「アンパンマンれっしゃ!にこにこステーション」が高松駅2階にオープンしました。

平成26(2014)年
2月25日 「SHIKOKU SMILE STATION」たかまつえきちゃんのラッピングが施されました。

3月1日 「ICOCA」サービスのエリアが高松・多度津間、宇多津・児島間に拡大しました。

平成29(2017)年
2月21日 **高松駅開業120周年**



昭和34年10月 2代目高松駅



元国鉄総裁十河信二氏の直書



昭和42年 高松駅構内



昭和62年4月1日 JR四国発足



昭和63年4月9日 宇高航路最終日



平成14年12月

高松駅の変遷



初代高松駅

初代高松駅(明治30年2月21日～明治43年6月30日)
 明治30年2月21日 讃岐鉄道の駅として、高松・丸亀間の
 開通時に開業しました。



2代目高松駅

2代目高松駅(明治43年7月1日～昭和34年9月14日)
 2代目高松駅は明治43年に建てられた北歐風ゴシック様式の建物だったが、
 昭和35年8月20日の大火で焼失しました。



3代目高松駅

3代目高松駅(昭和34年9月15日～平成9年12月19日)



4代目高松駅

4代目高松駅(平成13年5月13日～現在)



平成8年 高松駅2番、3番ホーム



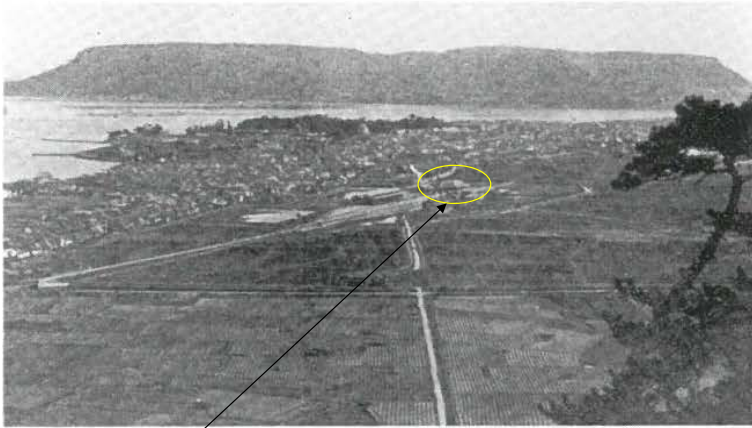
高松駅仮駅

高松駅仮駅舎(平成9年12月20日～平成13年5月12日)



最終営業日の仮駅舎

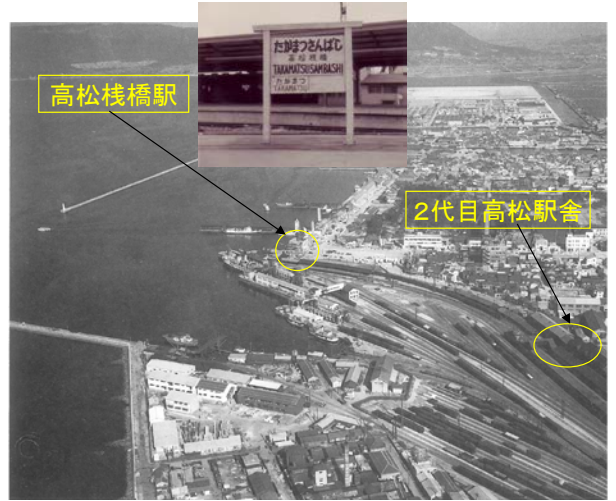
高松港頭地区の変遷



明治35年頃の西浜ステーション(初代高松駅)遠景(香川裕章氏提供)

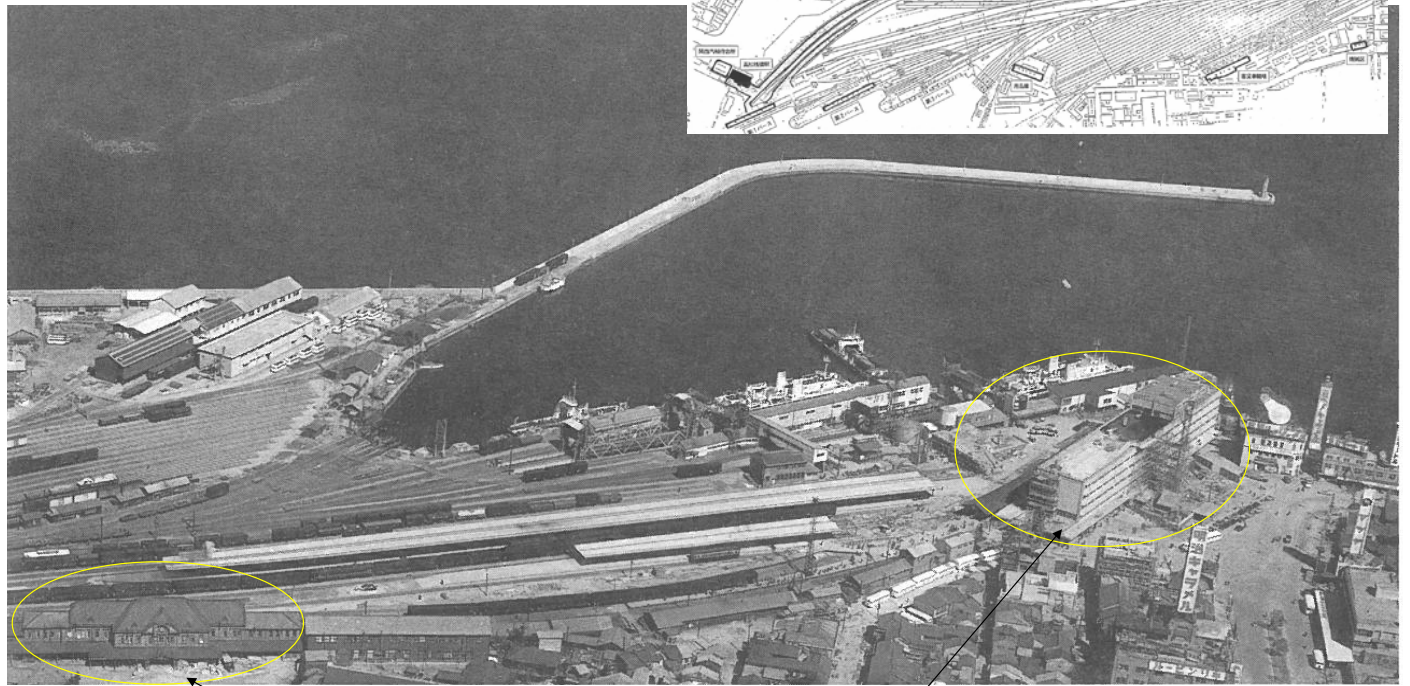
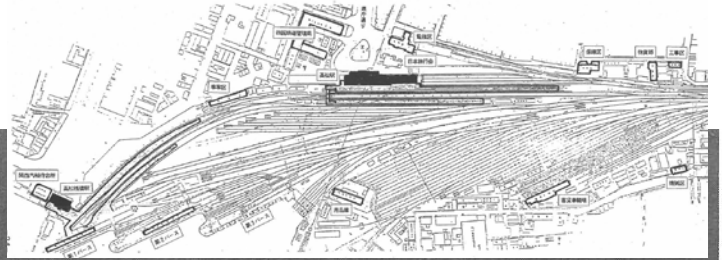
初代高松駅

初代高松駅は当時の香川郡宮脇村(現在の高松市昭和町
県立盲学校一帯)の田んぼの中に建てられており、この写
写真は石清尾山腹から撮影されています。



昭和30年頃の写真で、第1バースに宇高連絡線が着岸しています。

2代目高松駅構内平面図(昭和31年)



昭和35年初頭

2代目高松駅

3代目高松駅舎建築

3代目高松駅舎が完成間近、高松駅構内の改良
工事も同時に行われています。



昭和60年頃 開発前の高松港頭地区

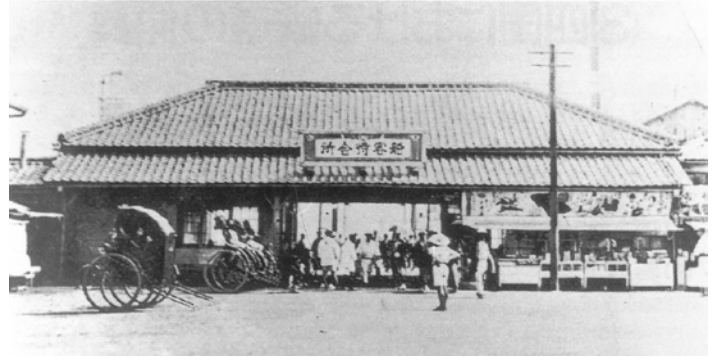


平成7年頃 高松港頭地区総合整備事業(サンポート高松)が進んでおり、JR四国の指令所ビル、
本社ビルの建設が始まりました。

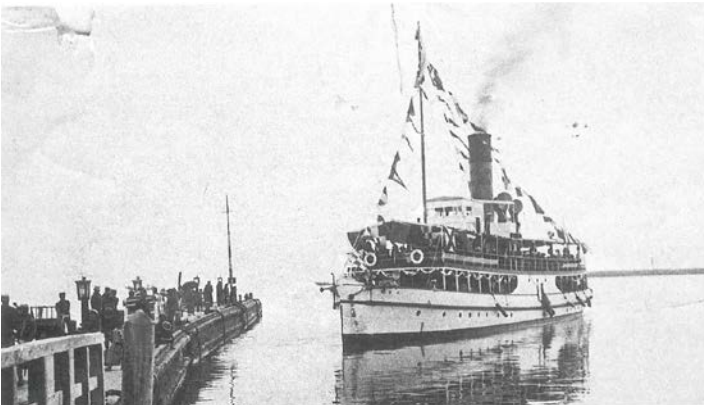
高松駅周辺(明治～大正)



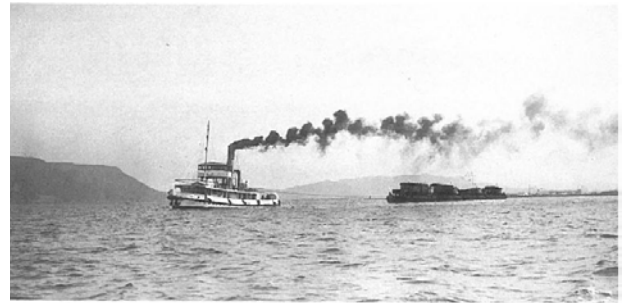
明治36年頃の高松港



明治末年頃 船客待合所



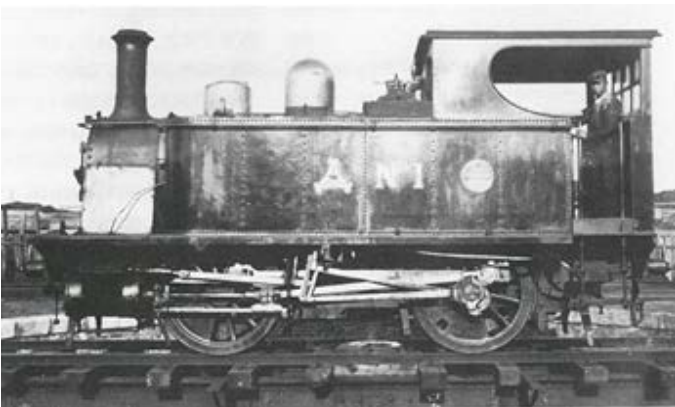
明治43年 宇高航路初航海で高松港に入港する「玉藻丸」
(定員 300人 224トン)



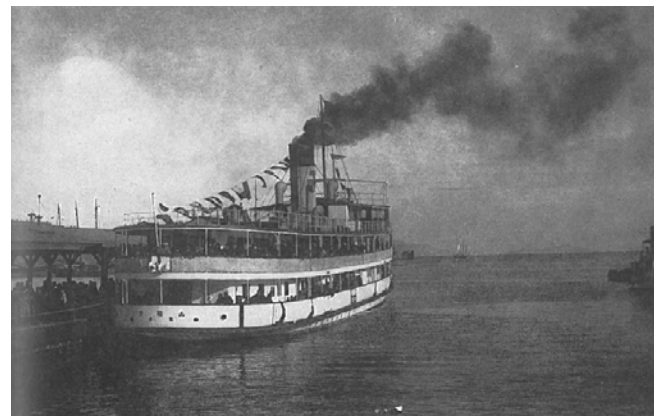
渡解(とふ)による航送「第三橋立丸」



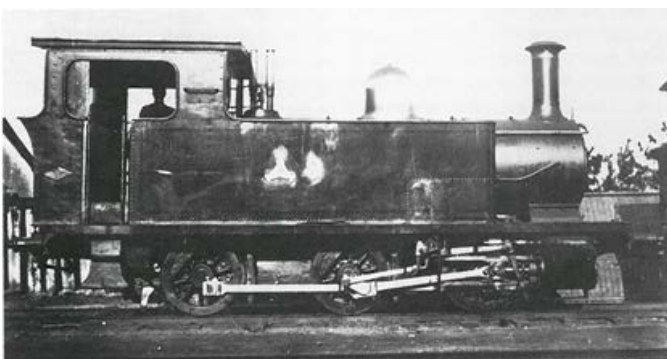
大正10年から始まった渡解による貨物航送「松風丸」



讃岐鉄道の1号機関車 別名「火の車」とか「陸蒸気」
ドイツのホーエンツォレルン社製20tB型機関車



大正12年 就航当時の「山陽丸」



讃岐鉄道9号機でイギリス製C型タンク機関車



貨車渡解高第6号、4号、10号

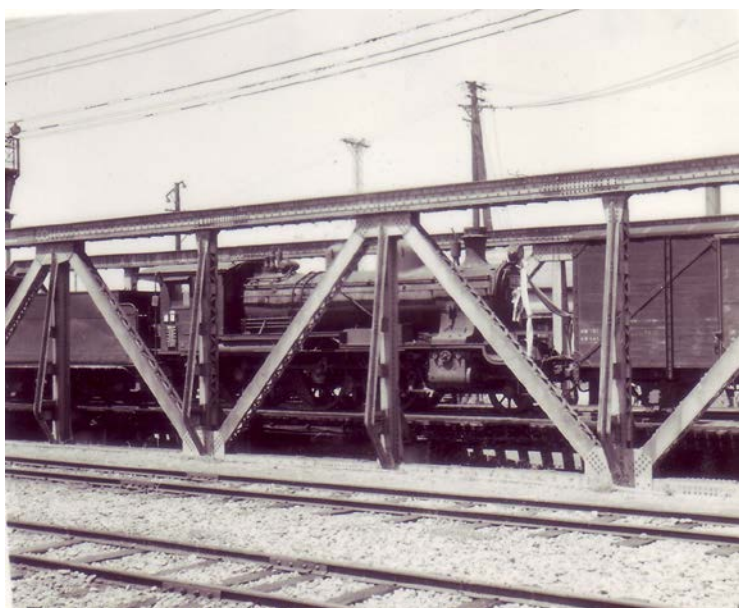
貨物輸送(昭和20年代～)



昭和26年5月 貨物を連絡船に積み込み



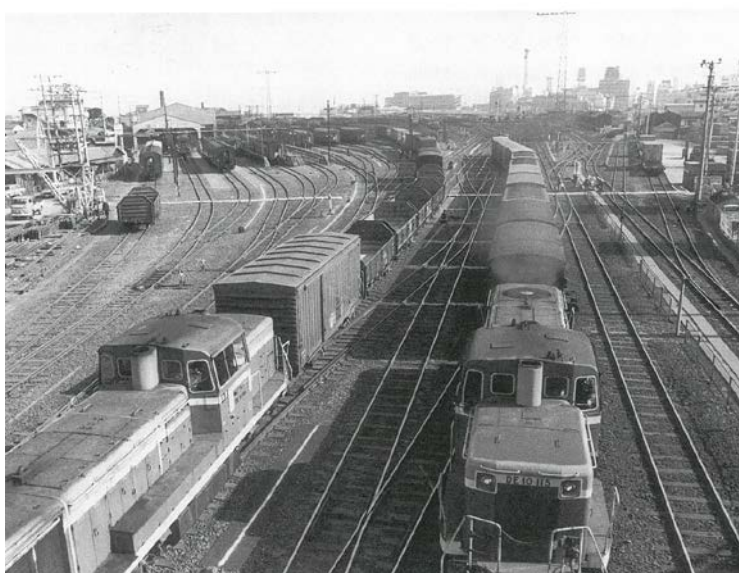
昭和33年9月 貨物を機関車が牽引



昭和37年 高松第2可動橋を渡る機関車



昭和40年代 高松駅構内



昭和50年代 DE10が貨物の牽引・押し込み作業

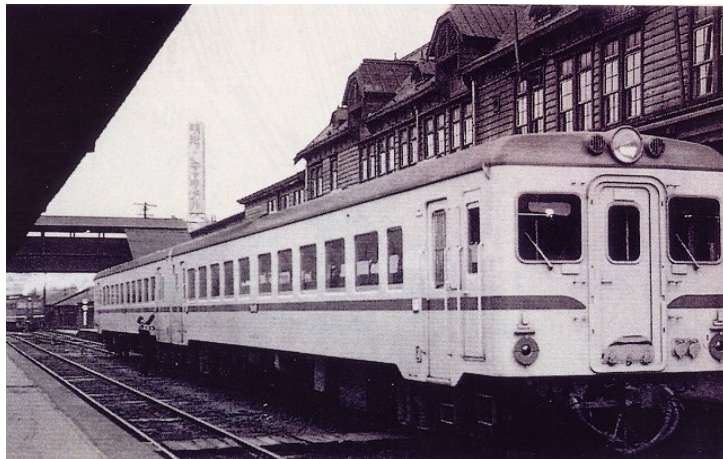


昭和50年代 DE10が貨物、DF50が客車を牽引

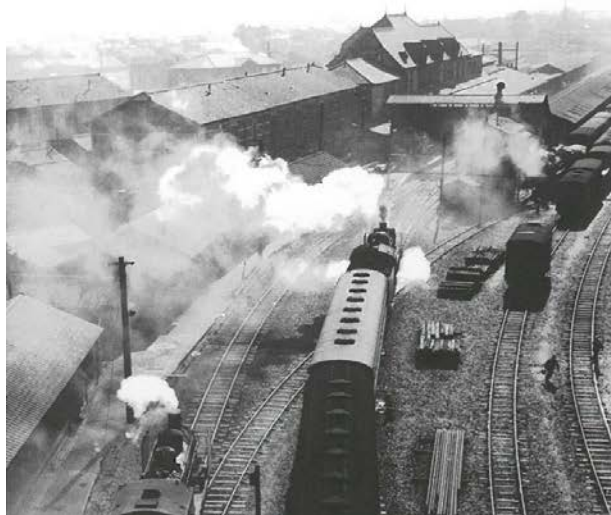
2代目高松駅構内(昭和30年代)



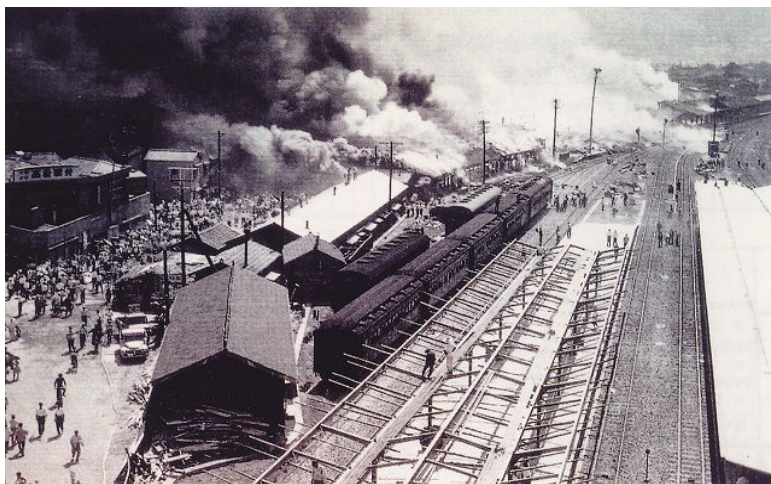
昭和30年頃 高松駅構内



昭和34年頃 高松駅1番線に停車中の準急気動車キハ26形



高松棧橋駅から2代目高松駅へ向かう客車



昭和35年8月20日の13時20分頃、2代目高松駅倉庫から出火し、国鉄関係建物53棟、旅館民家等建物40棟を焼失する大火となった。

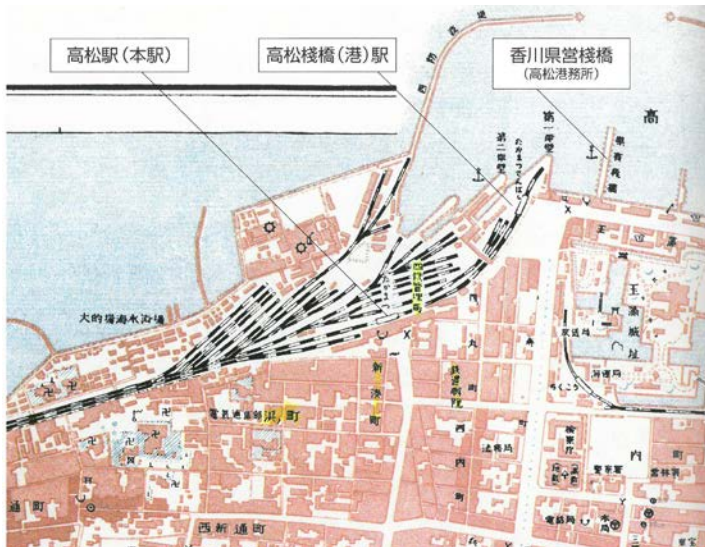


昭和34年9月 完成した3代目高松駅



昭和38年1月 最後の客車準急「南風」号

高松駅棧橋駅(昭和30年代)



昭和28年 高松駅周辺図



昭和30年3月 高松棧橋駅ホーム



昭和30年頃 高松棧橋駅周辺



高松棧橋行き客車



昭和33年 高松駅より高松棧橋駅を写す。



昭和30年の高松棧橋駅切符売り場

高松駅(昭和40年代)



昭和42年 高松駅構内



出札窓口(7番・8番本州線)



宇高連絡線への階段



急行「うわじま」



小荷物の積み卸し



降車口 改札口は別に設置



愛宕踏切



船舶への貨物押し込み作業



高松信号所

高松駅(昭和50年代)



昭和54年高松まつり「国鉄粋踊会」



駅前の交差点は昭和48年に設けられたスクランブル交差点。



4番急行うわじま 3番急行土佐 2番DF50 1番47 0番58



出札窓口



昭和52年 高松駅に設置された自動券売機



高松信号所



ホーム運転室内(六角堂内)



貨物入換え作業



貨物の振り分け作業



DE10による宇高連絡船への貨物積み込み

国鉄からJRへ(昭和60年代)



昭和62年4月1日 JR四国発足記念「四国一周号」出発式



本社ビルに「JR四国」看板取付け



讃岐丸の船体マークをJNRからJRに取り替え



帽章を桐から変更



国鉄色からJR色に変更



南風の車体にJNR

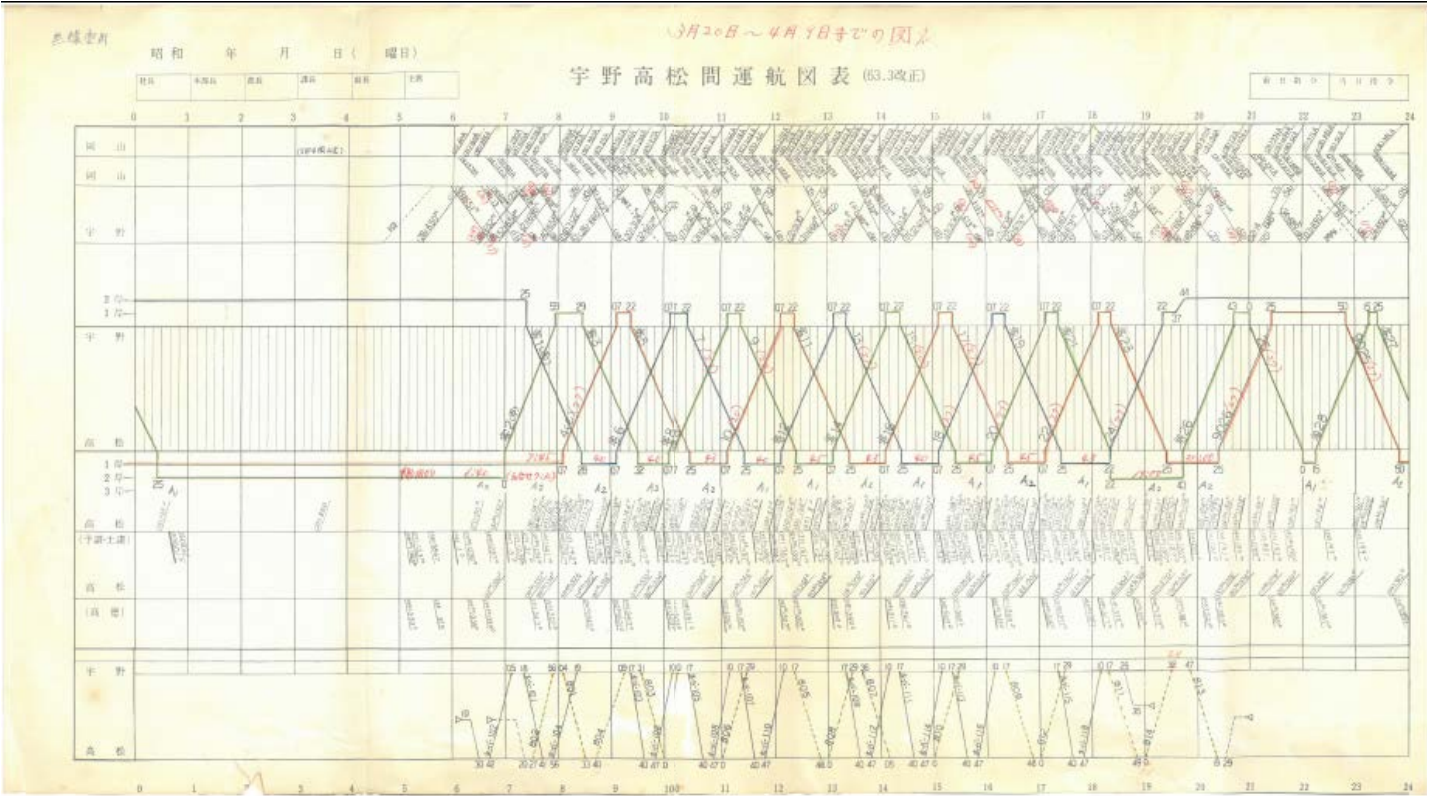


昭和60年当初の降車口付近



昭和60年代の高松駅構内の立ち食い「讃岐うどん店」

さよなら宇高連絡線(昭和63年4月9日)



宇野・高松間運航図表



鉄道連絡船78年の歴史に幕を閉じる阿波丸



讃岐丸のイルミネーション



連絡船への貨物積み込み作業



DE10での貨物押し込み

瀬戸大橋線開通(昭和63年4月10日)



昭和63年4月10日 瀬戸大橋線開通記念出発式



富田靖子 一日駅長 オレンジカード



マリンライナー



寝台特急「瀬戸」出発式



ブルートレインが6番線から出発

3代目高松駅構内(平成元年頃～)



平成元年 ホーム運転室(六角堂)



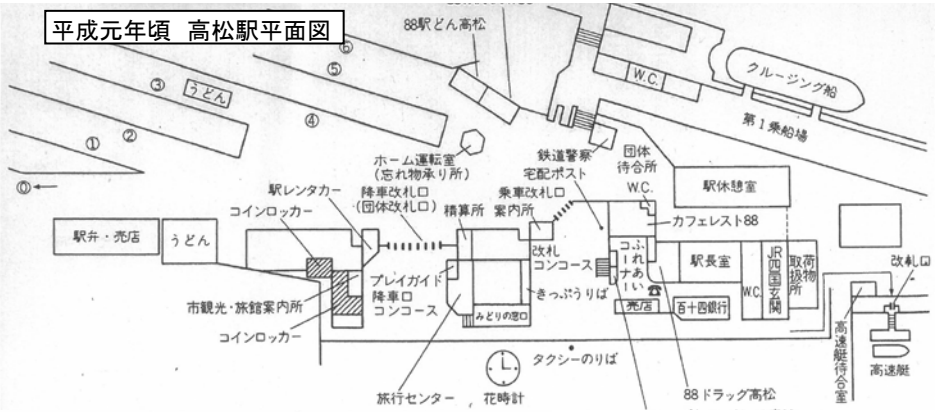
六角堂外観



立ち食い「讃岐うどん」店



カフェレスト88



平成元年頃 高松駅平面図



キヨスク



平成5年頃 高松駅平面図

1階平面図



駅どん



88ドラッグ高松



特急「いしづち」とDE10とマリンライナー



平成元年3月 世界初の制御付振り子を実用化した2000系特急気動車を土讃線に導入

高松駅(平成6年頃)



フェリー乗り場から本社方面の風景



みどりの窓口



高松駅3番・4番ホーム



出札担当窓口の様子



平成4年に導入した 8000系特急電車



改札口冬場の様子で風除けの風防を設置



JR貨物会社の入れ換え



高松信号所

高松駅(平成8年)



平成8年5月 改札口



平成8年5月 4番ホーム



平成8年11月 観光船「讃岐丸」の最終航海



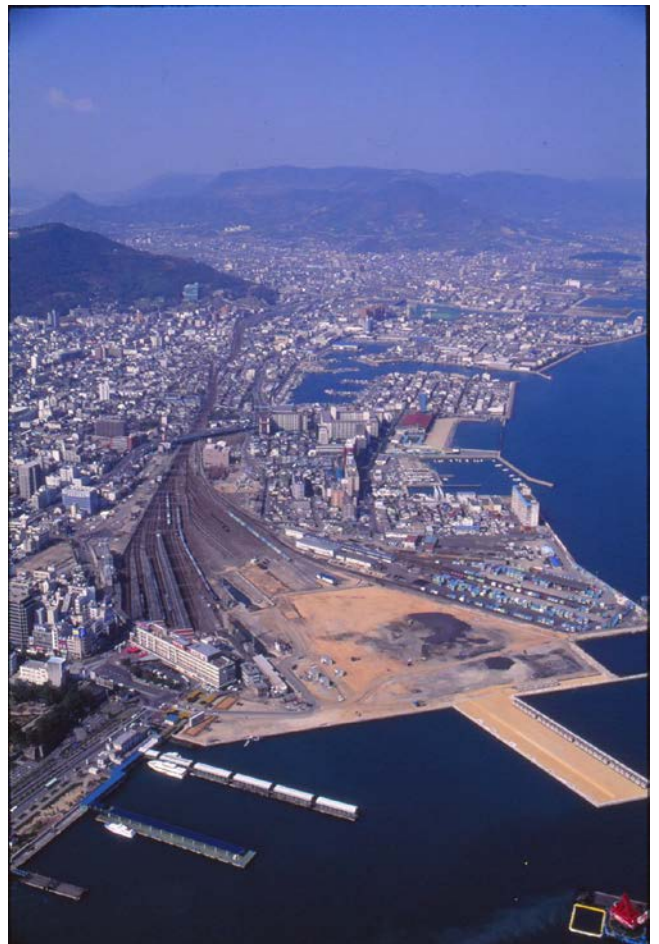
平成8年5月 高松駅2番、3番、後方にはJR四国本社



讃岐丸と瀬戸大橋



平成8年 高松駅構内



平成8年 埋め立ての進むサンポート高松

高松駅(平成9年)



平成9年2月 高松駅開業100周年



一日駅長 ミス高松



平成9年11月 瀬戸大橋線1億人達成



平成9年12月 3代目高松駅最終列車



新ホーム建設



平成9年12月20日 仮駅舎営業開始



平成9年12月 仮駅舎へ移転



平成9年12月 仮駅舎出改札

さよなら3代目高松駅(平成9年12月19日)



さよなら高松駅(3代目駅舎)ふれあいフェア



写真展



機関車「トーマス」試乗会



めりけんや うどん100円



3代目高松駅最終日の改札口



4番線8000系特急電車 5番線キハ185系「I LOVEしまんと」
6番線 マリンライナー



3代目駅舎屋上から撮影



花時計は徳島県立三好高校に移設

さよなら3代目高松駅(平成9年12月19日)



3代目高松駅舎



ワーンプラザ高松 観デパ入口



みどりの窓口



改札口よりホーム内



平成9年12月20日 0時10分最終列車到着後



3代目高松駅最終列車



3代目高松駅消灯式



3代目高松駅が37年間の使命を終え消灯

高松駅仮駅舎(平成10年～)



平成10年3月



高松駅仮駅舎



みどりの窓口前通路



ホームへの跨線橋



仮駅舎内店舗「キヨスク」



仮駅舎内店舗「アントステラズ」



8番・9番ホーム

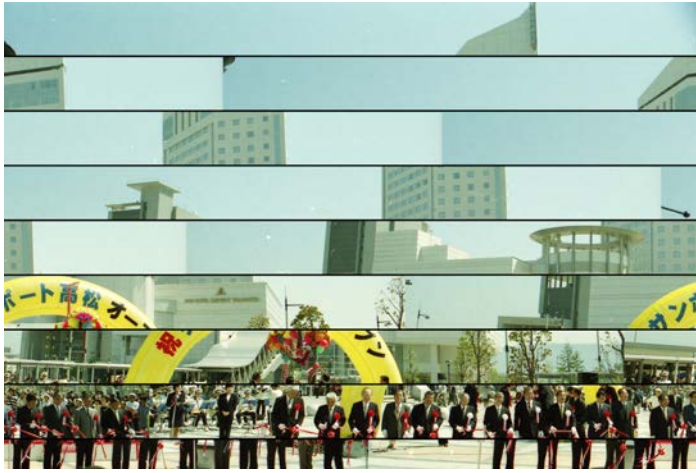


平成10年7月5日「さよなら瀬戸」記念ツアー

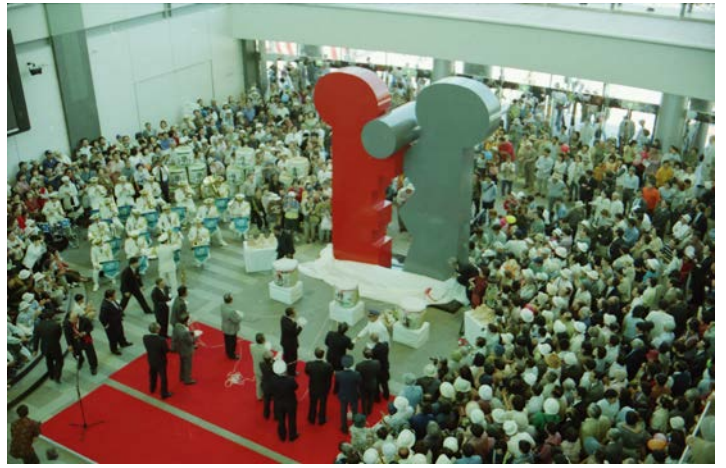


サンポート高松に「クレメントホテル」建設中

4代目高松駅開業(平成13年5月13日)



サンポート高松オープンセレモニー



「だいてんまい」(香川の方言で抱いてみない) 除幕式



「サンポート高松号」出発式 出発合図は連絡船のドラの音



和太鼓で開業を祝う幼稚園児



役目を終える仮駅舎



開業日の改札口

高松港頭地区再開発の第1期オープンにあわせ、高松駅新駅舎がバリアフリーのモデル駅として、全てのお客様に優しい駅を目指して開業しました。コンコース内にはイベントスペースを設け、サンポート高松の賑いづくりを図っています。



高松駅前広場



サンポート高松第1期オープン当時

現在の高松駅



平成29年2月 高松駅全景



平成29年2月 「四国まんなか千年ものがたり」試運転



アンパンマンれっしやにこここステーション



マリンライナー5番線到着



2代目高松駅舎



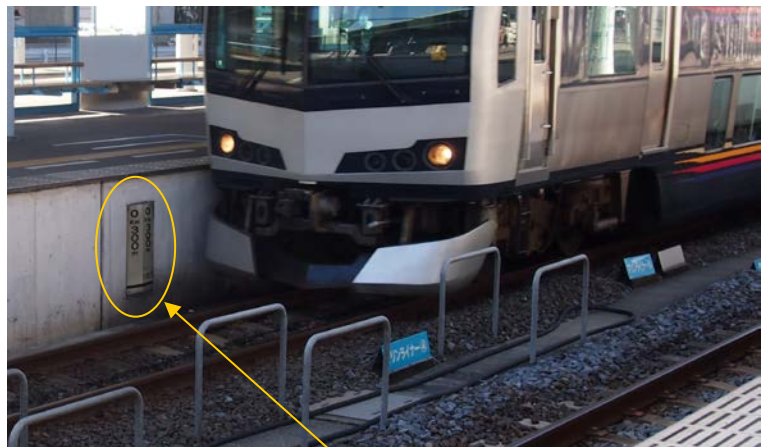
高松駅構内「連絡船うどん」



3代目高松駅舎



平成28年3月デビュー8000系「アンパンマン列車」



滅多に見ることのできない5番線「300mキロポスト」